

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社ショーワ 上場取引所 東
 コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉山 伸幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関口 誠 TEL 048-554-1151
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	140,466	17.0	11,510	—	12,225	—	8,681	—	6,887	—	10,902	—
29年3月期第2四半期	120,056	△6.6	△17,627	—	△18,161	—	△20,774	—	△22,197	—	△29,338	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	90	66	—	—
29年3月期第2四半期	△292	21	—	—

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	204,582	105,403	92,928	45.4				
29年3月期	205,885	97,340	84,152	40.9				

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	272,000	4.8	22,000	—	22,500	—	15,600	—	11,900	—	156.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	76,020,019株	29年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	53,942株	29年3月期	53,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	75,966,086株	29年3月期2Q	75,966,092株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料等については、TDnetおよび当社ホームページのIR情報で開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) セグメント情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日までの6ヶ月間）の売上収益につきましては、二輪車用製品、四輪車用製品及びステアリング製品の販売が増加し、1,404億6千6百万円と前年同四半期に比べ204億9百万円（17.0%）の増収となりました。営業利益は売上変動構成変化及び原価低減効果等による増加並びに製品保証引当金繰入額の減少により、115億1千万円（前年同四半期は176億2千7百万円の損失）となりました。税引前四半期利益は122億2千5百万円（前年同四半期は181億6千1百万円の損失）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は68億8千7百万円（前年同四半期は221億9千7百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

<二輪・汎用事業>

二輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主にアジア及び日本における販売の増加により、全体で増加しました。

二輪・汎用事業の売上収益は、二輪車用製品の販売が増加したことにより、388億9千3百万円と前年同四半期に比べ47億6千1百万円（14.0%）の増収となりました。営業利益は、54億9百万円と前年同四半期に比べ18億7百万円（50.2%）の増益となりました。

<四輪事業>

四輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主に中国及び日本における販売の増加により、全体で増加しました。

四輪事業の売上収益は、四輪車用製品の販売が増加したことにより、441億3百万円と前年同四半期に比べ32億3千4百万円（7.9%）の増収となりました。営業利益は、30億5千3百万円と前年同四半期に比べ13億5千5百万円（79.9%）の増益となりました。

<ステアリング事業>

ステアリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に北米及び中国における販売の増加により、全体で増加しました。

ステアリング事業の売上収益は、ステアリング製品の販売が増加したことにより、505億1百万円と前年同四半期に比べ124億1千万円（32.6%）の増収となりました。営業利益は、69億8千8百万円と前年同四半期に比べ46億円（192.6%）の増益となりました。

<ガスピリング事業>

ガスピリング事業の売上収益は、15億9千4百万円と前年同四半期に比べ1億1千1百万円（6.5%）の減収となりました。営業損失は、製品保証引当金繰入額を計上したことにより、41億9百万円（前年同四半期は営業損失254億2千6百万円）となりました。

その他

その他の売上収益は、53億7千4百万円と前年同四半期に比べ1億1千4百万円（2.2%）の増収となりました。営業利益は、1億6千9百万円と前年同四半期に比べて2千6百万円（13.4%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,045億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3百万円減少しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は1,183億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億9千8百万円増加しました。これは主に、その他が減少したものの、現金及び現金同等物が増加したことによるものです。

<非流動資産>

非流動資産は862億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億1百万円減少しました。これは主に、その他の金融資産並びに有形固定資産が減少したことによるものです。

<流動負債>

流動負債は789億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億8千8百万円減少しました。これは主に、引当金が増加したものの、短期有利子負債並びにその他の金融負債が減少したことによるものです。

<非流動負債>

非流動負債は202億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億7千8百万円減少しました。これは主に、その他の金融負債並びに繰延税金負債が減少したことによるものです。

<資本>

資本は1,054億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億6千2百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ63億3千3百万円増加し、365億4千8百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は、182億6千8百万円（前年同四半期比389.1%増）となりました。主な増加は、税引前四半期利益122億2千5百万円、減価償却費及び償却費48億8千7百万円です。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、6億9千4百万円（前年同四半期比82.1%減）となりました。主な減少は、有形固定資産の取得による支出40億9千2百万円であり、主な増加は、その他の金融資産の売却又は償還による収入36億4百万円です。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、114億6千9百万円（前年同四半期は6億8千4百万円の使用）となりました。主な減少は、短期有利子負債の純増減額75億5千9百万円、非支配持分株主への配当金の支払額34億6千2百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2017年4月1日から2018年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、2017年7月31日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正しました。

2018年3月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 265,000	百万円 21,000	百万円 21,200	百万円 15,300	百万円 11,900	円 銭 156.65
今回修正予想(B)	272,000	22,000	22,500	15,600	11,900	156.65
増減額(B-A)	7,000	1,000	1,300	300	—	
増減率(%)	2.6	4.8	6.1	2.0	—	
(ご参考)前期実績 (2017年3月期通期)	259,495	△3,263	△2,407	△8,340	△11,444	△150.65

為替レートは通期平均で、1米ドル=110円、1人民元=16.2円を前提としています。

なお、中間配当につきましては、長期的な視点に立ち、今後の事業展開と連結業績などを総合的に勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするべく、1株につき10円とさせていただきます。

また、当期の期末配当予想につきましては、1株につき10円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は1株につき20円を予定しています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	30,475	36,548
営業債権及びその他の債権	43,061	42,433
その他の金融資産	1,358	422
棚卸資産	32,707	33,181
その他	8,044	5,759
流動資産合計	115,647	118,345
非流動資産		
有形固定資産	68,808	66,719
投資不動産	536	536
無形資産	2,983	3,026
持分法で会計処理されている投資	5,024	5,261
その他の金融資産	6,746	4,417
繰延税金資産	2,253	2,311
その他	3,885	3,964
非流動資産合計	90,238	86,236
資産合計	205,885	204,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期有利子負債	10,420	2,608
営業債務	32,058	31,681
その他の金融負債	10,209	7,065
未払法人所得税	1,610	1,277
短期従業員給付	6,668	7,435
引当金	21,437	24,773
その他	3,290	4,065
流動負債合計	85,695	78,907
非流動負債		
長期有利子負債	6,296	5,877
その他の金融負債	2,503	1,181
長期従業員給付	7,578	7,674
引当金	941	928
繰延税金負債	4,923	4,072
その他	605	537
非流動負債合計	22,849	20,271
資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,417	13,417
利益剰余金	53,186	62,289
自己株式	△54	△54
その他の資本の構成要素	4,904	4,577
親会社の所有者に帰属する持分	84,152	92,928
非支配持分	13,188	12,474
資本合計	97,340	105,403
負債及び資本合計	205,885	204,582

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	120,056	140,466
売上原価	△96,813	△108,807
売上総利益	23,242	31,658
販売費及び一般管理費	△39,735	△20,235
その他の収益	210	327
その他の費用	△1,345	△239
営業利益(△は損失)	△17,627	11,510
金融収益	310	503
金融費用	△1,129	△99
持分法による投資損益	283	310
税引前四半期利益(△は損失)	△18,161	12,225
法人所得税	△2,612	△3,543
四半期利益(△は損失)	△20,774	8,681
四半期利益(△は損失)の帰属：		
親会社の所有者	△22,197	6,887
非支配持分	1,423	1,794
合計	△20,774	8,681
基本的1株当たり四半期利益(△は損失) (単位：円)	△292.21	90.66

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益(△は損失)	△20,774	8,681
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	△109	770
確定給付制度に係る再測定額	—	—
純損益に振替えられることのない項目の合計	△109	770
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△7,950	1,390
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△503	59
純損益に振替えられる可能性のある項目の合計	△8,453	1,450
その他の包括利益合計(税引後)	△8,563	2,220
四半期包括利益	△29,338	10,902
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	△29,640	8,776
非支配持分	302	2,125
合計	△29,338	10,902

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて測定される金融資産	確定給付制度に係る再測定額
期首残高	12,698	13,417	62,132	△54	2,985	—
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	△22,197	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△109	—
四半期包括利益合計	—	—	△22,197	—	△109	—
所有者との取引等						
配当	—	—	△607	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	1	—	△1	—
所有者との取引等合計	—	—	△606	△0	△1	—
期末残高	12,698	13,417	39,327	△54	2,874	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△0	2,080	5,064	93,258	12,378	105,637
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△22,197	1,423	△20,774
その他の包括利益	0	△7,333	△7,442	△7,442	△1,120	△8,563
四半期包括利益合計	0	△7,333	△7,442	△29,640	302	△29,338
所有者との取引等						
配当	—	—	—	△607	△1,674	△2,282
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△1	—	—	—
所有者との取引等合計	—	—	△1	△607	△1,674	△2,282
期末残高	—	△5,253	△2,378	63,010	11,006	74,016

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて測定される金融資産	確定給付制度に係る再測定額
期首残高	12,698	13,417	53,186	△54	3,539	—
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	6,887	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	770	—
四半期包括利益合計	—	—	6,887	—	770	—
所有者との取引等						
配当	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	2,215	—	△2,215	—
所有者との取引等合計	—	—	2,215	△0	△2,215	—
期末残高	12,698	13,417	62,289	△54	2,094	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	—	1,364	4,904	84,152	13,188	97,340
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	6,887	1,794	8,681
その他の包括利益	—	1,118	1,889	1,889	331	2,220
四半期包括利益合計	—	1,118	1,889	8,776	2,125	10,902
所有者との取引等						
配当	—	—	—	—	△2,839	△2,839
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△2,215	—	—	—
所有者との取引等合計	—	—	△2,215	△0	△2,839	△2,839
期末残高	—	2,483	4,577	92,928	12,474	105,403

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	△18,161	12,225
減価償却費及び償却費	4,450	4,887
減損損失	942	18
金融収益及び金融費用	△235	△271
持分法による投資損益(△は益)	△283	△310
有形固定資産除売却損益(△は益)	72	74
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,228	17
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,134	1,174
営業債務の増減額(△は減少)	1,660	△792
従業員給付の増減額(△は減少)	495	812
製品保証引当金の増減額(△は減少)	21,890	3,283
その他	△575	1,008
小計	7,892	22,127
利息の受取額	191	245
配当金の受取額	229	288
利息の支払額	△113	△79
法人所得税の支払額	△3,381	△4,313
独占禁止法関連支払額	△1,083	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,734	18,268
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の金融資産の売却又は償還による収入	875	3,604
その他の金融資産の取得による支出	△282	△175
有形固定資産の売却による収入	289	143
有形固定資産の取得による支出	△4,728	△4,092
その他	△26	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,872	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△608	△0
非支配持分株主への配当金の支払額	△2,112	△3,462
短期有利子負債の純増減額(△は減少)	2,402	△7,559
長期有利子負債の返済による支出	△366	△447
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684	△11,469
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	△1,471	228
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,293	6,333
現金及び現金同等物の期首残高	27,139	30,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,845	36,548

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基に決定しています。

当社グループは、自動車用部品を主に、輸送用機械の精密機能部品の製造及び販売と、これに関連する事業を営んでおり、製品の用途と特性に応じて「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」、及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントと各報告セグメントごとの主要製品は次のとおりです。

報告セグメント	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、トリムシリンダ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	その他 (注)1	調整額 (注)3	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業					
外部顧客からの売上 収益	34,131	40,868	38,091	1,705	114,797	5,259	—	120,056	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	34,131	40,868	38,091	1,705	114,797	5,259	—	120,056	
セグメント利益(△ は損失)(注)2	3,602	1,697	2,388	△25,426	△17,738	195	△84	△17,627	
金融収益及び金融 費用									△818
持分法による投資 損益									283
税引前四半期利益 (△は損失)									△18,161

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。

2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益(△は損失)をベースとしています。

3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない「その他の費用」です。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	その他 (注)1	調整額	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業					
外部顧客からの売上 収益	38,893	44,103	50,501	1,594	135,092	5,374	—	140,466	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	38,893	44,103	50,501	1,594	135,092	5,374	—	140,466	
セグメント利益(△ は損失)(注)2	5,409	3,053	6,988	△4,109	11,341	169	—	11,510	
金融収益及び金融 費用									404
持分法による投資 損益									310
税引前四半期利益									12,225

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。

2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益(△は損失)をベースとしています。



2017年11月2日

2018年3月期第2四半期連結累計期間

参考資料

連結業績 (IFRS)

(単位: 百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		差異	2017年3月期		2018年3月期		差異
	前第2四半期 (6ヶ月)実績	当第2四半期 (6ヶ月)実績	前第2四半期 (6ヶ月)実績	当第2四半期 (6ヶ月)実績		前期(通期) 実績	当期(通期) 今回予想	前期(通期) 実績	当期(通期) 今回予想	
売上収益	120,056	140,466	20,409	259,495	272,000	12,504				
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	32,440	37,047	4,606	70,560	74,254	3,693		
		ボート用製品	1,690	1,845	155	3,427	3,390	△ 37		
		計	34,131	38,893	4,761	73,988	77,644	3,655		
	四輪事業	ショックアブソーバ	29,774	32,607	2,832	61,459	61,864	404		
		駆動系	11,094	11,495	401	23,104	22,733	△ 370		
	計	40,868	44,103	3,234	84,563	84,597	33			
	ステアリング事業	38,091	50,501	12,410	86,205	94,937	8,731			
	ガススプリング事業	1,705	1,594	△ 111	3,464	2,731	△ 733			
その他	5,259	5,374	114	11,273	12,089	816				
営業利益	△ 17,627	11,510	29,138	△ 3,263	22,000	25,263				
事業別	二輪・汎用事業	3,602	5,409	1,807	9,333					
	四輪事業	1,697	3,053	1,355	4,801					
	ステアリング事業	2,388	6,988	4,600	7,820					
	ガススプリング事業	△ 25,426	△ 4,109	21,316	△ 25,703					
	その他	195	169	△ 26	568					
全社	△ 84	-	84	△ 84						
税引前利益	△ 18,161	12,225	30,387	△ 2,407	22,500	24,907				
当期利益	△ 20,774	8,681	29,456	△ 8,340	15,600	23,940				
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 22,197	6,887	29,085	△ 11,444	11,900	23,344				
基本的1株当たり当期利益	円 銭 △ 292.21	円 銭 90.66	円 銭 382.87	円 銭 △ 150.65	円 銭 156.65	円 銭 307.30				
営業利益増減要因	△ 29,153	29,138		△ 10,832	25,263					
売上変動構成変化等	3,152	5,224		8,531	3,175					
原価低減効果等	1,362	1,709		4,621	2,910					
労務費(ベースアップ影響)	△ 554	△ 544		△ 1,119	△ 1,136					
研究開発費	△ 299	229		△ 400	206					
販管費・その他収益費用	△ 30,653	20,524		△ 19,183	18,625					
為替影響 ※	△ 2,160	1,996		△ 3,282	1,483					
設備投資	4,796	2,429	△ 2,367	10,997	7,572	△ 3,425				
減価償却費	4,450	4,887	436	9,455	9,752	296				
総資産	175,933	204,582	28,648	205,885						
資本合計	74,016	105,403	31,386	97,340						

※ 営業利益増減要因の各項目の金額は、前期の為替レートで換算しており、当期の為替レートによる換算との差(換算差)は「為替影響」に含めています。

個別業績 (日本基準)

	2018年3月期		2018年3月期		差異	2017年3月期	
	当期(通期) 前回(7/31)予想	当期(通期) 今回予想	当期(通期) 今回予想	当期(通期) 今回予想		前期(通期) 実績	前期(通期) 実績
売上高	98,600	102,100				100,190	
営業利益	1,900	4,300				2,222	
経常利益	14,300	16,800				9,608	
当期純利益	14,200	13,800				△ 17,971	